

報道関係各位

ウイングアーク1st株式会社

**杉並電機株式会社が MotionBoard を導入
生産現場担当者を起点にデータを取得する IoP を実現
作業ログデータと生産計画データの可視化**

ウイングアーク1st株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中 潤）は、精密金型および精密小物プレス加工を手掛ける杉並電機株式会社が、作業ログデータを収集し運転稼働監視を行うシステムを構築するにあたり「MotionBoard」を導入したことをお知らせいたします。

導入後は、作業ログデータと生産計画データの必要な情報が MotionBoard のガントチャートに集約され表示されるシステムを構築し、納期遅延などのリスクを大幅に削減し、社員全体で生産改善に取り組む環境を実現しました。

【杉並電機株式会社について】

杉並電機株式会社は、東京都羽村市に工場を構え、スマートフォンやパソコンなど、さまざまなエレクトロニクス機器にとって欠かすことのできないコネクタ用の端子を中心に、超精密金型の設計・製作から精密高速自動プレス機による部品加工まで、一貫して手掛けています。短納期、小ロット生産など、お客様の対応に合わせた独自のシステムでの製造により、高精度、高品質な製品を展開しています。

【背景】

コネクタ用の端子は、サブミクロンの精度で作られた金型を用いたプレス加工によって生み出されており、月あたりの生産数は億単位となります。プレス機はすべて自動運転で生産を行いますが、金型の付け替えや設定など1人の担当者が2～4台のプレス機を受け持っています。そのため、生産ラインの異常停止や修理など予定外の対応に追われ、現場でのハウレンソウ（報告、連絡、相談）が、1日の作業の終わりになることもありました。

生産計画への大きな支障や納期遅延などのリスクの解決手段として、各プレス機からセンサーデータを収集することで稼働監視を行うことができる IoT の仕組みを導入したいと考え、収集したデータを可視化するツールとして、以下が決め手となり MotionBoard を採用しました。

- ・自由度が高い画面設計で、生産計画と作業ログデータを統合し、ガントチャートに表示できる

- ・こだわっていた『異常-復旧』などの稼働履歴を含めた各プレス機の稼働状況を可視化できる

【導入効果】

IoT の考え方から MotionBoard を導入しましたが、生産現場の担当者では1つの画面で必要な情報を集約したいと考えるようになりました。各プレス機から大量の稼働データを収集しても、結局使い切ることができないため、シンプルに生産現場の担当者を起点にデータを集めて可視化する IoP に舵を切り直しました。

生産現場の担当者は、「加工」「準備」「修理」「外観検査（通常時、材料交換時）」、「測定」といった作業のイベントごとに、Web アプリ上で自分の名前を選び、「ボタンを押すだけ」の操作で、作業ログデータを入力します。

管理者は前日までの進捗を踏まえた生産計画を、Access 上で毎朝更新します。これらの作業ログデータと生産計画データの必要な情報が、MotionBoard のガントチャートに集約されるため、その日の生産計画に対する進捗を判断し、采配を変更することが可能となりました。

その結果、以下の効果が生まれています。

- ・必要な調整を臨機応変に打てるため、納期遅延などのリスクを大幅に削減できた
- ・現場担当者からも MotionBoard に何を表示したいかアイデアが出るようになり、社員全体で生産改善に取り組むようになった

MotionBoard のガントチャートは管理者の PC やタブレットだけでなく、生産現場にてプロジェクトでも表示されており、すべての担当者が工場全体の状況を共通認識としながら個々の作業にあたるようになりました。

今後は、「データ活用の民主化」の考えのもと、生産現場の創意に基づいてシステムを発展させていく予定です。

■事例紹介

<https://www.wingarc.com/product/usecase/202.html>

<製品・サービスに関するお問い合わせ先>

ウイングアーク1st株式会社

〒106-6235 東京都港区六本木三丁目 2 番 1 号 六本木グランドタワー

TEL:03-5962-7300 FAX:03-5962-7301 E-mail:tsales@wingarc.com

※ウイングアークの Facebook ページ

ユーザー事例・製品情報・イベントなどウイングアークの最新情報をお届けしています。

<http://www.facebook.com/wingarc>

※本リリースに掲載する社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。